

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	オーストラリア科学奨学生の派遣		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和43年度～未定		担当課室	国際教育課		国際教育課長	神代 浩		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 XⅢ-1 国際交流の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際化が著しく進展しているため、高校生段階における国際交流を通じて、広い視野を持って異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく態度を育成する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ノーベル賞クラスの一線級の科学者から最新の科学知識に関する講義を受け、他国からの参加高校生との交流を深めることを目的とした、シドニー大学内物理学財団が主催する「高校生のための国際科学学校」事業の派遣高校生(オーストラリア科学奨学生)を文部科学省が決定し、当該派遣に要する旅費を支給する。(隔年実施)								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	—	0	—	—	—		
		繰越し等	—	0	—	—	—		
		計	—	1.5	—	1.3	—		
	執行額	—	1.5	—	—	—			
	執行率(%)	—	100%	—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	ハリメツセル国際科学学校へのオーストラリア科学奨学生の派遣数			成果実績	人	—	10	—	向上していくこと
				達成度	%	—	125% (H21:8人)	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	国の派遣経費の一部支援を受けて、派遣された奨学生数			活動実績 (当初見込み)	人	—	10	—	向上していくこと () () ()
単位当たりコスト	131,700(円/人)			算出根拠	25年度予定 1,317,000円(生徒)/10人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	教員等派遣旅費	1.3百万円							
	計	1.3百万円							

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国際化が著しく進展する現代においては、広い視野を持って異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく態度の育成が必要であり、高校生交流の推進のため、国が事業を行う必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	ノーベル賞クラスの一線級の科学者から最新の科学知識に関する講義を受け、他国からの参加の高校生との交流を深めることを目的とした「高校生のための国際科学学校」事業への派遣高校生を文科省が決定し、当該派遣に要する経費(旅費)であり、真に必要なものに限定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	文部科学省が直接派遣する高校生を決定し、当該派遣に要する経費(旅費)を支給する本事業は、国際化が著しく進展する現代において、広い視野を持って異文化を理解し、これらを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく態度の育成するため、直接実施しており、実効性の高い事業となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	本事業は、隔年度実施のため、平成24年度は実施しない。平成9年度から平成23年度までは10名ずつ(平成19、21年度は8名)の高校生を派遣してきた。今後も限られた予算の範囲内で、最大限の効果が発揮できるよう課題となっているが、今まで以上の適正な事業実施に努める。				
	なお、平成25年度は10名の派遣を予定している。				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
平成25年度限りの経費(隔年実施)					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年	20	平成24年	144

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
1.3百万円

教員等派遣旅費:1.3百万円

※シドニー大学内物理学財団が主催する「高校生のための国際科学学校」事業への派遣高校生を選考・決定し、派遣を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					